

令和元年度上期に出された意見要望と今後の取り組みについて

令和元年度上期に開催した、総代会前地区別説明会・各部会総会などにおいて、それぞれ皆様より多くのご意見・ご要望をいただきました。それらに対する回答と進捗状況・今後の取り組みについてまとめさせていただきましたので、ご報告いたします。



ご要望にお応えしました！

Q1 飼料米・加工米は助成金があり面積も増えているが、一般米を高くで買ってほしい。また、販売の方も頑張ってください。

A 生産者の所得増大に向けた取組みとして、令和元年度の一般米につきましては、これまでの委託販売方式ではなく、買取による販売を積極的に行うこととしました。価格等については、委託販売より高めに設定しておりますので、詳しくは各営農センターへお尋ねください。

Q2 ドローンを活用した農作業の受託について、JAが引き受けることはできないのか。

A ドローンでの水稻除草剤・殺虫剤散布を実証圃場にて実施するとともに、試行的に受託作業（3ha）を実施致しました。今後も、関係機関や委託者との協議を図りながら、来年度に向けた課題を整理し受託作業を進めて参ります。

Q3 年金受給日に隼人支店ではお茶が振舞われるが、日当山支所でも行ってほしい。

A 10月15日（火）の年金支給日に日当山支所にて実施致しました。

Q4 JAから賃借している「ふれあい館(旧嘉例川支所)」の倉庫が雨漏りしているので補修してほしい。

A 補修工事致しました。

現在取組み中です！

Q5 肥料の価格を下げしてほしい。

A 生産資材のコスト抑制対策として、量販店の価格調査を実施しながら価格対応を図っているところです。その他に予約注文の取りまとめや、直送値引き・パレット引取値引きなど取引形態に応じた値引きの実施、また、入札による一括仕入れや推奨品目の設定による銘柄集約など低コスト化に向けた取組みを進めております。今後も組合員の皆様に1円でも安く供給できるよう取組みを継続して参ります。

【特別価格対策商品のご紹介（11月末まで）】

- | | |
|---------------|---------------------|
| ・苦土石灰（粉） | 350円（通常価格より△60円） |
| ・苦土入りくみあい化成8号 | 1,250円（通常価格より△390円） |
| ・有機入BB888 | 2,019円（通常価格より△111円） |
| ・大豊作 | 200円（通常価格より△100円） |

※中央肥育牛センターで販売しているバラ堆肥につきましても、特別価格での販売をいたしておりますのでご利用ください。

Q6 農薬の価格を分かりやすく表示してほしい。

A 時季的な商品につきましては、POP等を活用しながら使用基準や価格等の案内を行い販売に努めております。農薬をご利用の際は窓口担当者にお尋ね頂ければ、使用基準・容量・価格等を詳しく説明いたします。尚、JA全農が主催する「JA-POP甲子園」において、当JA西部営農センター蒲生駐在が特別賞を受賞しました。全店舗で分かりやすい表示になる様、引き続き取り組んで参ります。

Q7 販売事業に力を注ぐべきではないか。

A 契約販売の拡大、インショップへの出荷推奨など販路拡大を行っております。なお、品目・作付等に関しては営農センター職員との事前検討も実施しておりますのでご相談下さい。

Q8 白ねぎについて、契約栽培で面積を拡大したいが、契約数量を増やせないのか？

A 熊本大同青果への出荷量拡大は出来ませんでした。くみあい食品と10kダンボール規格での契約販売を協議しています。また、取引のある市場にも販売（契約）打診をしておりますので、しばらくお時間をいただたく存じます。

Q9 営農指導員の巡回指導は圃場で行ってほしい。

A 専門指導員と連携を図りながら圃場での指導を実施して参ります。また、栽培管理等で緊急を要する場合には、営農センターに連絡いただければ対応致します。

Q10 農協からマルチャーを借りたが、泥がついたままで掃除がされていなかった。また、カバーも外れていた。

A 使用後は掃除・水洗いを徹底するとともに、常時点検整備も行こととしました。

Q11 牛のヘルパー事業の進捗状況を教えてほしい。

A 現在、各地区の振興会から総代を選出しており、これから各関係機関と総代でヘルパー組合設立に向け協議していきます。

Q12 労働力確保対策と有るがJAの方で斡旋を出来るよう、早急に取り組んで欲しい。

A 外国人労働力の確保対策を進めるため、技能実習制度の監理団体との打合せを実施しました。技能実習制度では水稻、畜産での作業が行えない事からJAでの受入については、検討が進んでおりませんが、農家による受入はできますので、ご興味のある方については監理団体のご紹介や内容説明など行います。お気軽にお問い合わせ下さい。引き続き特定技能制度を活用した外国人受入や農福連携について検討をすすめて参ります。

Q13 ハウスがあるので自己育苗で苗を作りたいが、播種機について行政からの助成は受けられないか。

A チェーンポット育苗、手動式の播種器具一式助成金が可能です。なお、育苗センターでは播種のみ注文も対応可能ですが、単価については現在検討中です。

Q14 組合員向けの改革だけでなく、組合員サービスの向上に繋がるような職員向けの改革は行っているのか。

A

職員の人材確保対策と若年層の待遇改善を図るため、給与改定を行ないました。引き続き、職員の待遇改善や働きやすい職場づくりに取り組むとともに、組合員へのサービス向上にも取り組んで参ります。

Q15 昨年 12 月に開催された「みんなおいで！農協まつり」を知らない人が多かった。

A

今年度は、12/1（日）に開催します。歌手の「城之内早苗」さんをお招きし歌謡ショーも開催予定です。広報については、JA だよりや農業新聞・南日本新聞へのチラシ折り込み、マスコミを活用した広報に加え、LINE・フェイスブック等でも広報しながら多くの方々に来場いただけるよう取り組んで参ります。

Q16 准組合員利用で JA 事業が成り立っているが、現在のビジョンで本当に農業の基盤が確保できるのか。農業関連の事業で経営が安定出来る様に取り組んで貰いたい。

A

今年度につきましても農業関連の収支改善プロジェクトを四半期ごとに開催し、効率化を図りながら、組合員の期待に応える取組みを今後も進めて参ります。直近では、9月30日に開催し、四半期の総括と今後の取組み策について検討いたしました。

Q17 産学官・農商工連携での 6 次産業化の取組みについて、始良市での取組みは進んでいるのか。

A

現在は行政や商工会と連携を行うなかで、「はだか麦丸ボーロ」に引き続き、「はだか麦焼酎」などの 6 次化に向けた取組みを進めています。また、来年のかごしま国体開催に向けた始良市・湧水町の国体仕様ラベルのきりしま茶ペットボトルの製造についても検討を進めています。

Q18 語る会開催について、農業後継者への呼びかけが出来ないか。

A

次回開催時には農業後継者等も含め広く声を聴く活動となるよう取り組みます。

Q19 最近キャッシュレスの話題が取りざたされていますが、JA でもクレジットカードや電子マネーなどのキャッシュレス決済が、使えるようになったり、還元が受けられますか。

A

9月号の広報誌でキャッシュレス決済についてご紹介したところですが、消費者還元事業者登録が遅れている関係で、クレジット決済端末の導入が10月中旬頃となり、クレジット・デビット・電子マネー決済の5%還元は端末導入以降となる見込みです。PAYPAY（QRコード決済）も導入済ですが、10月21日頃より5%還元対象になる予定です。

今後検討して参ります！

Q20 購買職員の名前が分かるようにしてほしい。ポロシャツに刺しゅうを入れてほしいか。

A 業務中職員はネームの着用を徹底しておりますが、作業内容によっては着用できない場合もございます。組合員の方へ職員の名前を覚えていただくためにも、制服（ポロシャツ）の更新時期には名入れを行って参ります。

Q21 健康サロンを栗野地区でも開催してほしい。

A 今年度は計画しておりませんが、来期の計画に組み入れるよう検討致します。

Q22 飼料用米は、1月末に代金が入ってくる。購買代金の支払いを2月や3月に出来ないのか。

A 補助金支払時期を前倒しできないか関係機関と検討いたしました但難しいとの回答でした。また、飼料用米決済サイトにつきましては、飼料用米専用肥料が開発販売されていることから、水稻予約注文書（一般米・飼料用米）を区分しながら、サイトの見直しを検討して参ります。

Q23 県外では民間企業と連携して営業をしているJAがあるようだが、JAあいらでも取組み検討は行わないのか。

A 現在、農繁期の休日営業（半日）や営業時間の延長、9月からのキャッシュレス決済やPOSレジ導入（令和2年1月を目途）等を行いながら、利便性の高い購買店舗作りを進めております。民間企業との連携については、経済連との意見交換を行って参ります。

Q24 白菜の出荷を11～12月にしたいので、6月植付け苗の注文を取ってほしい。

A 令和2年度の取り纏め時には6月定植苗も取り入れて参ります。

Q25 新ゴボウの面積を拡大したいが、選果場へ長・短の規格に分けての持込のため人手がかかる。掘り取り後、全量持込が出来るようにしてほしい。

A ごぼうについては、一次選別として長短の規格区分ならびに、病虫害被害等明らかな規格外品の除外を生産者側をお願いしております。面積拡大と一次選別負担の関係性については、部会等での協議も含めて検討して参ります。

Q26 高齢化もあり、総会などの参加者も少なく役員を引き受ける方もいなくなった。JAあいらとして水稻部会の集約はできないか。

A 営農センター単位で集約できているところ（3センター）と、旧市町単位（1センター）となっており、現状ではまだ1部会への集約は難しい状況です。今後、水稻部会の連携を図りながら、各センターの部会集約に向けての検討を致します。

Q27 廃プラ回収日を増やしてほしい。畜産農家は廃棄ラップが溜まって困る。出来れば4月か5月くらいに1回追加してほしい。

A

廃プラ回収は廃プラ協議会にて、耕種部門・畜産部門の回収時期を勘案しながら、年に2回地域毎に実施しており、今年は8月・12月に実施することが決定していますので、次回開催する担当者会（10月）の検討事項とさせていただきます。尚、今年度の第2回廃プラ回収の案内を11月号の広報誌に掲載いたしますのでご確認ください。

Q28 セリ場出入口から繫留所までと、繫留所から外トイレまでの雨天用屋根を設置してほしい。

A

業者から見積徴求など行いながら、検討いたします。

Q29 若い世代に農業を理解させる場として始良地区でも農業祭を開催出来る様に取り組んでほしい。

A

支店まつりの実施に向けた検討と併せて、行政と連携した地産地消の取組みやイベントの企画を検討しています。尚、始良市と「煮しめグランプリ」の開催に向けて協議を進めています。

Q30 准組合員も集まって語り合える場を設けてほしい。

A

准組合員のJA運営参画、意思反映を目的に「准組合員のつどい」の開催を検討しています。また、各支店まつりでは准組合員の方を対象としたアンケート調査を実施し、情報収集を行っております。開催の際は是非ご参加下さいますようお願い致します。

ご理解ご協力をお願いいたします

Q31 農繁期の休日営業は営農センターのみではなく、支所購買も営業を行ってほしい。

A

労務管理等の観点から、支所での休日営業は難しい状況です。農繁期の休日営業については、支所店舗管内の購買店舗にて営業を行っておりますので、ご利用とご理解を賜りたいと存じます。

Q32 玉ねぎについて、面積を拡大したので出荷先を検討して頂きたい。

A

現時点では、給食センターへの出荷で賄いきれております。今後、さらに面積の拡大された場合にはくみあい食品との契約を進めます。

Q33 農機具担当の職員を増やしてほしい。

A

組合員サービスの向上や満足度アップ、組合員宅へ出向く体制等を基本に事業展開を図っております。また、修理整備担当・推進担当者を特に区別せず全員で対応し、組合員の皆様方にご不便を掛けないうよう、迅速な対応を図って参りますのでご理解下さい。

Q34 市場開催について、現行は薩摩と日程を合わせているが、蛤良の種雄牛は肝属と同じこともあるので、中旬に開催するよう見直しはできないのか。

A

セリ開催日程については、県全体での日程調整となるうえ、来年セリ日程については隣接市場が大幅な流れの変更に難色を示しておりますので、開催日の見直しについては難しい状況であることをご理解ください。

Q35 A コーフ国分店をよく利用するが魚屋が 16 時に閉まり、仕事終わりに行くとやっていないので、18 時頃まで開けてほしい。

A

鮮魚コーナーでのお刺身等の調理につきましては、時間を区切って行っており、人員体制の面で時間の延長は難しいとの事です。お刺身などは売れ筋を見極めながら調理しておりますが、ご希望の商品が無くなる場合もあると思います。事前にご予約いただければ対応できるとの事です。ご理解賜りますようお願い致します。